

アスレティックトレーナーの社会的地位向上に関する研究

—新たな価値創造による活動領域の拡大をつうじて—

【 要 旨 】

ソーシャル・イノベーション研究科

ソーシャル・イノベーション専攻

2024年3月修了

関 賢一

【要 旨】

日本におけるアスレティックトレーナー制度が創設されてから 30 年が経過し、その社会的認知度や地位は低いとされる。しかし、アスレティックトレーナーの資格を基に価値あるサービスを提供し、事業を拡大している事例も存在する。本研究では、アスレティックトレーナーが運営する組織の活動や特徴、およびクライアントからの意見を分析し、その影響を探った。

調査結果からは、アスレティックトレーナーに対するクライアントの高い評価と、彼らが提供する広範な価値の認識が明らかになった。これは、スポーツ界を超えた社会的領域においてもアスレティックトレーナーの必要性が高まっていることを示している。過去の研究で指摘された社会的地位の低さとは対照的に、アスレティックトレーナーは尊敬され、社会に貢献している存在であるという結論が得られた。

この事例分析は、日本のアスレティックトレーナーの現状に新たな視点を提供するものである。今後の研究により、アスレティックトレーナーのさらなる発展に必要なプロセスの探求が期待される。